



奥多摩 タワ尾根



報告：T. F.

◎期日：2022年11月10日（木）

◎メンバー：T. F. (L)、S. S.、M. S.

奥多摩のタワ尾根は自然林が残っており、新緑や紅葉の時期は特に綺麗で、これを目当てにこれまでも何度か登っている。日原を基点に、上段歩道～四間小屋尾根～ウトウの頭～タワ尾根のコースは三度、その他のコースも二度ほど歩いているが、小生の脚力の低下等から、今回は一石神社から取り付き、ウトウの頭をピストンのコースで計画してみた。

車道から石段を少し登ると一石神社。神社の裏にはクライマーなら誘われそうな巨大な垂直の岩壁が見えるが、まずは本日の安全登山を祈願する。神社のすぐ側からスタート。登山口にもかかわらず細く崩れそうな道で、声を掛け合って足元に注意して登っていく。やがて広く安定したところに到着。ベンチが二つあり腰を下ろして、ホッと一休み。

ここからはSさんを先頭に、Mさん、小生の順で行く。急だが硬くてしっかりした道で特に問題はない。ジグザクに高度を上げていくと、紅葉が見られるようになり、間もなく尾根に乗った。



(一石神社)

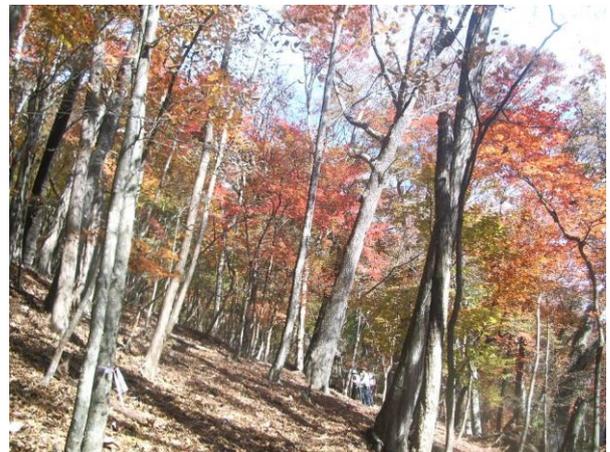


(尾根に乗ると一転して広くて穏やかな登りとなる)

尾根は一転して広くて穏やかな登りとなり、お二人はドンドンと行くが、小生はマイペースで写真を撮りながらいく。間もなく「一石山 1007m」に到着。ほぼ平坦な尾根の樹に、山名が書かれた小さなプレートが二つ、それぞれ別の樹に着けてあった。



(一石山の山頂。山頂らしくないので、気づかずに通過してしまいそう)



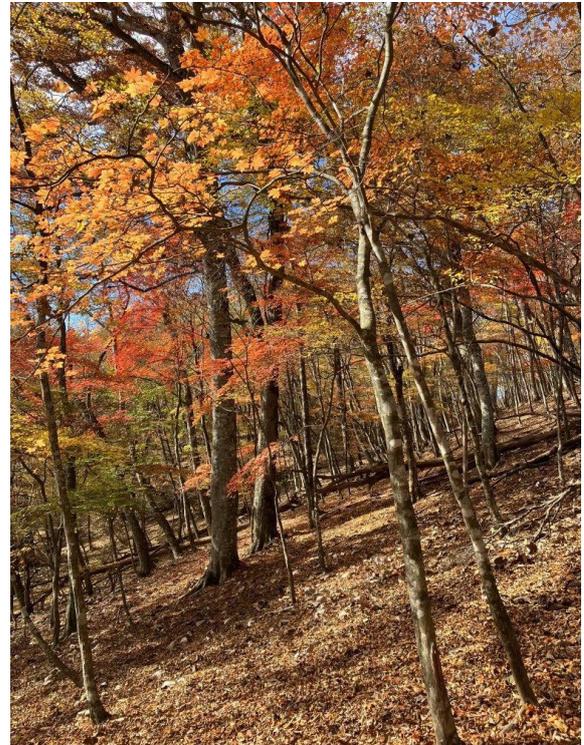
(ミズナラの巨木・人形山方面への登り、とても綺麗な紅葉樹林の中を登って行く)

次はミズナラの巨木を目指す。地図に「2013年4月に折損」とあり、2018年11月に来たとき、折損した姿を見ているが、現在はどうなったのか確認しておきたかったが、その姿を見ないまま通り過ぎてしまった。ルートから少し外れたところにあることは承知していたが、・・・。

帰路に探すことにしてそのまま登り、「人形山 1176m」に到着。ここも顕著なピークではなく尾根のちょっとした高みで、山名は小さなプレートに記されていた。



(人形山の山頂プレート)

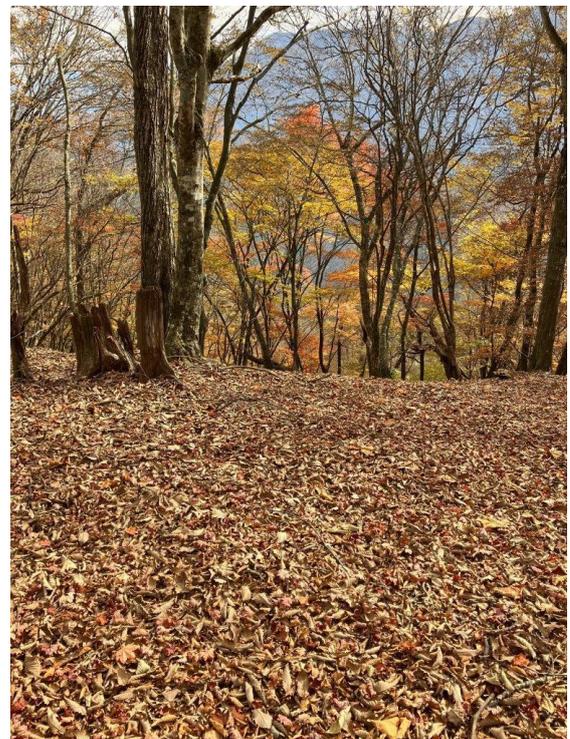


(人形山付近の紅葉林)

続いて金袋山を目指して歩き出す。綺麗な紅葉を愛でながら向かうが、タワ尾根の素晴らしいところのひとつは、土が見えないほど地面一面が落ち葉に覆われていることではないかと思う。落ち葉を踏みしめながら登っていると、自然のまっただ中にいるような気分になる。尾根の広いところはどこでも歩けるが、尾根を外さないように登って行けば間違いはない。幸いに適度にマーカーがあり、ルートは分かる。何だかトレースのない雪山の歩きに似ている。

周囲は全て素晴らしい紅葉で、そのまっただ中に行くのはまことに贅沢。お二人からは「綺麗ネエー！」と感嘆の声が途切れない。

やがて「金袋山 1325m」に到着。山頂プレートは見ていると楽しくなるような造りで、制作者の気合いを感じる。くつろいでいると、後続パーティがやってくるのが見えたので、出発。



(登山道はもちろん、どこにも土が見えないほど地面一面が落ち葉に覆われている)

(金袋山。山頂プレートは見ていると
楽しくなるような造り↓)



綺麗だった紅葉が登るにつれ、いつの間にか
ほぼ落葉している。やがて「すず坂ノ丸 1456m」
に到着。正午前だが広くて腰を降ろせる倒木ベン
チもあったので、ここで昼食とする。

間もなく後続の大人数のパーティが到着。こ
のパーティもここでランチだが、食後は来た道
を戻るとのこと。我々は「ウトウの頭」を目指
して腰を上げた。しかしながら既に落葉してお
り、寂しくなった樹を見ながら進む。やがて急
な登りになると、小生の足の調子が思わしくな
く、ピッチが上がらなくなってきた。するとお
二人より「この辺りまでとしませんか？」との
優しい声。この登りさえ登りできればウトウの頭
はぐっと近くなるが、お二人の提案に即、賛成
して、回れ右とした。 (↓すず坂ノ丸 山頂)



帰路にミズナラの巨木を探しに行くことに
した。人形山から一石山へ向かうルートを注意
深く降りていくと、うすい踏み跡を見付け、こ
れを追っていくと折れて倒れている巨木を見付
けた。なんとも痛ましい姿がそこにあった。

これがあの巨木だろうか？違う巨木のような
気もしたが、他を探しに行く気にもなれず、し
ばらく呆然とたたずみ、写真を撮って下りはじ
めた。

{帰宅してからデジカメをチェックしたとこ
ろ、どうしたことが写っていなかった。またお
二人も撮っておらず、・・・痛ましい姿は誰
も撮りたくないものと思う}



(健在だった頃のミズナラの巨木。直計数十mのウッド
サークルに囲まれて、神が宿っているような存在感が
ありました。2011. 5. 14. 撮影)



(途中で折れてはいましたが、面影は
ありました。2018. 11. 3. 撮影)

なんだか心が傷んだが、健在だった巨木の姿を思い起こしながら、見事な紅葉に癒やされ下って行った。やがて一石山を通過し尾根の末端に到着。「日原へ」の案内プレートの前で一旦停止したが休憩はせず、そのまま急坂を下っていき、ベンチの広場に到着した。

ここから下が細くて崩れそうな急な下り道、本日の一番の核心。ベンチに腰を下ろして、行動食を食べ、飲み物も飲みながら一休み。ここまではSさんが先頭を歩いてくれたが、ここから先は小生が先頭をいくことに。全員、ストックの長さを調節してスタート。足元に注意して声を掛け合って、ゆっくりと慎重に降りて行った。かくして、スリップや転倒などすることなく、全員無事、一石神社に降り立った。神社に無事下山の御礼をして石段を降りた。

ミズナラの巨木は残念であったが、「タワ尾根の紅葉はやはり綺麗」を改めて実感した一日であった。



(日原へ向けて細い急坂を下り始める)

<当日のコースタイム>

一石神社	(8:35)
一石山 1007m	(9:45)
人形山 1176m	(10:20)
金袋山 1325m	(11:00)
すず坂ノ丸 1456m	(11:25-45/ランチ)
ウトウの頭を目指す	途中で引き返す
ミズナラの巨木	(13:35)
尾根より日原へ	下降開始(13:55)
一石神社	(14:25)

(了)